

エリス&エイダの鬼の里Diary

Ellis's Story

「Wonderful country Japan」

今年の冬は昨年と比べると少し暖かいですね。初めて鬼北町で過ごした去年は、雪がすごかったです。今年は暖冬で嬉しいですが、雪合戦がしたいですね！

日本には便利な物が多く、外国人が日本を旅行したら「自分の国にもあったらいいなあ…」と思う人が多いです。まず1つ目が「トイレ」です。アメリカやヨーロッパには、あまりウォシュレットがないので、日本のトイレに座ると温かくて驚きます。2つ目は「こたつ」です。この冬、私が自宅で過ごすときはいつもこたつに入っています。永遠にこたつで過ごせます。「寒い時にこたつに入って、みかんを食べながらテレビを観る」という習慣は、日本独特のユニークな習慣です。そして3つ目が

日本のコンビニです。アメリカのコンビニには、お菓子や飲み物しか販売していません。しかし、日本のコンビニでは、おにぎりや弁当、チキンや肉まん、そして温かい飲み物など、豊富な種類の美味しい食べ物をたくさん販売しています。初めて日本のコンビニに入った時、とても感動しました。

また、私が特に感心したことは、電車やバスなどの公共交通機関の乗り物が定刻通りに到着することです。アメリカでは時刻表が信頼できないほど、遅刻するのが当たり前です。日本では、「12:00着」と書いてあれば、12時ピッタリに到着するので本当に素晴らしいと思います。私は改めてとても素敵な国に住んでいるなあと感じています。



鬼北町外国語指導助手
通称：エリス

アメリカ合衆国カリフォルニア州出身
※毎週水曜日、エイダとともに英会話教室を開講しています。

地域おこし協力隊のゆうゆう自適日記

皆さん、こんにちは！
年末年始は鬼北町で楽しく過ごしました。
鬼北の冬を楽しみます。



地域おこし協力隊1年目
はやかわ ゆうこ
早川 優子

【宇和島圏域の現役&OB協力隊の研修会】

12月5日、圏域の現役協力隊とOBでの研修が開催され、今後に活かせる貴重な話がたくさん聞けました。

【地域の人々から学ぶ出張講座】

12月13日、広見中学校で行われた「地域の人々から学ぶ出張講座」に参加しました。明るい生徒たちと交流ができたこと、鬼北町の自慢のスポットや皆の趣味、今の流行などをたくさん教えていただき、とても参考になりました。

【2018年最後の道の駅イベント】

2018年最後のイベントでは、「鬼嫁コンテスト」、「森の三角ぼうし謝恩市」と、大変盛り上がりました。

2018年4月に鬼北町に移住してから8カ月が経ち、たくさんの方々に優しく接していただき大変感謝しています。

これからも鬼北町の魅力発信と地域の方々ともっと交流できるように頑張りたいです。



▲広見中学校の生徒たちとともに